

日本の食品ロスと仔牛の死亡率が、ゼロになる未来の実現を目指して。

2015年に、牛用飼料の輸入卸売販売を行う株式会社カスケディア・トレーディングを設立。食品廃棄物を飼料、肥料化する取り組みや、仔牛の体調管理するクラウドタグの開発などを通じて、畜産業界のイノベーションを目指すのが、同社代表の石井寛文氏だ。

石 井氏はロンドンの大学（アート専攻）を卒業後、福岡で飼料の輸入販売を行う商社に就職。8年間勤めた後に東京の大手商社へと移り、馬の輸入にも関わった。

「当初は畜産業界にそれほど興味があったわけではありませんが、何度も牧場に足を運ぶうちに業界の課題が見えてきて、会社勤めのままでは生産者様の要望に応えきれないという思いを抱くようになりました。その頃に年の近い妻の弟が急逝してしまったこともあり、一度きりの人生だからこそ挑戦しよう、と、起業を決意したのです」。

そうした経緯で創業したカスケディア・トレーディングでは、良質な飼料や牧草を輸入することに加え、生産者のニーズに合わせてカスタマイズした混合飼料やサプリメントの提供もスタートさせた。

主に輸入飼料を扱いながらも、創業当時から考えていたのが、日本の食品ロスに注目した

循環型の取り組みだ。農林水産省の統計によると、日本では1年間の食品ロスは約612万トン。そのうち約328万トンを、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの小売店やメーカーの工場などで発生する事業系食品ロスが占めている。「食品ロスが大量に出るという現状で、多くの食料を輸入に頼っているのが日本の現状で、これは牛用飼料も同様です。そこで当社では、飲料・食品メーカーの工場などから出る食品ロスから肥料をつくり、その肥料で牛たちが食べる牧草を育てるという取り組みを進めてきました」。

食 品ロスを飼料化する取り組みはすでに他社でも見られるが、メーカー側が廃棄料を支払うケースも多く、現状では食品ロスに価値を付与しているケースはほとんどない。対して当社では、メーカーや小売チェーンなどと連携した循環型の仕組みを構築することで、食品ロスに新たな価値を与えることに成功している。

「工場や小売店で発生する食品廃棄物からつくった肥料を牧草地に撒き、その牧草を食べて育った牛からとれる牛乳、牛肉を、ブランドとして、顔が見える形で製品化する。そうしたスキームを実現し、すでに数社のメーカーや大手チェーンとの取り組みを進めています。当社の売上のメインである海外飼料の輸入販売とは異なるアプローチの事業になりませんが、価格面でも供給面でも生産者様にメリットのある国産飼料の開発は、畜産業界や日本の未来を考えると不可欠なこと。目先の利益よりも生産者や消費者のため、そして地球や子どもたちの未来に貢献したいという、先義後利の精神で挑戦を続けています」。

さ らにグループ会社となるライブストック・アグリテクノ社では、仔牛の活動量を測定してデータ化するクラウドタグ「アットモーメント」を開発。鹿児島県の大規模牧場での実証実験では、仔牛の不調の早期発見と早期治療、死亡率の低下などにより、大きな生産効率の向上を実現。業界で注目を集める同サービスは、2021年6月の提供開始から全国での運用が広がり、すでに約5000頭の仔牛に導入されている。

「電池式機器などで親牛を管理する仕組みは存在しますが、大掛かりなシステムの導入が必要になるうえ、仔牛の管理に適したものはありませんでした。親牛に比べて体の弱い仔牛は急に体調を崩して死んでしまうことも多く、そうした仔牛の死に精神的なダメージを受けている多くの生産者や獣医師の方たち

を見てきたことも、開発のきっかけになりました」。

「アットモーメント」は、ランドセルにICタグを付けた小学生が受信機のある校門を通ると、親にメールが届くという。登下校監視システムに着想を得たもの。電池フリーで半永久的に使えるタグと受信機、自社開発のアプリを使えば、仔牛の活動状態や活動量の推移、治療記録などが可視化され、スマートフォンなどの端末で活動量が落ちている仔牛についてのアラートを出すことができる。

「今回のコロナ禍では、海外飼料の高騰や供給不安に加え、働き手として牧場を支える海外の研修生が入国できないことによる人手不足も畜産業界の課題となっていました。アットモーメントの運用を広げることで、そうした課題の解決にも貢献できると考えています」。

同サービスでは、仔牛のみならず親牛での運用や、集まった膨大なデータをビッグデータとして活用し、畜産業界に還元することも目指すという。

「今後も生産者様の声に真摯に耳を傾けながら、サービスを進化させていくことはもちろん、畜産業界の課題を解決するための新しいソリューションも提供していきたい。将来的には、日本の食品ロスと仔牛の死亡率がどちらもゼロになる未来を実現したいと考えています」。

CHALLENGER

ISHII HIROFUMI

株式会社カスケディア・トレーディング 代表取締役

石井寛文

1977年福岡県生まれ。ロンドンの大学（アート専攻）を卒業後、独立系中小企業商社、大手総合会社を経て株式会社カスケディア・トレーディング、ライブストック・アグリテクノ株式会社を設立。畜産農家における課題の抽出や解決に向けたプロジェクト設計などを行う。

The Extra Edge

世の中のトレンドをリードする話題のモノ、ヒト、コトなどを紹介